

上ノ国町 公共施設等総合管理計画の概要

目的

持続可能な町経営

期間

平成28年度～平成41年度（14年間）

※計画的に効率よく施設整備や維持管理を行うことで施設の寿命を延ばしたり、利活用促進や統廃合を進めることで将来の負担軽減を図り、健全な町経営を図っていくことが必要です。

※次期「上ノ国町総合計画」の最終年度との整合を図りました。

上ノ国町の現状

【人口推移】

- 昭和35年の14,674人をピークに減少
- 高齢者人口割合の増加

平成22年：5,428人※1
平成52年：3,114人※2

▶30年間で43%減少を予測

※1：国勢調査結果
※2：上ノ国町人口ビジョンによる推計値

【財政状況】

- 地方税など自主財源の伸び悩み
- 高齢者の増加などから扶助費等の義務的経費の増加

公共施設等の現状と課題

【公共施設（建築施設）】 庁舎、学校、集会施設、住宅など

施設数：271施設
総延床面積：80,897㎡

◎課題

- 老朽化の進行 ▶築30年以上が施設数の54%
- 維持更新費の増大 ▶今後40年間の維持更新費は年平均8.3億円（総額332億円）※3との試算

※3：試算条件

- ・現在保有する公共施設（建築施設）を保有を継続
- ・更新（建替）は60年周期、大規模改修は30年周期
- ・維持更新費は、更新費及び大規模改修費の計

【インフラ施設】 道路、橋、水道など

おもな施設		施設数、延長など (H26年度末時点)
道路	道路延長	156,697m
	橋梁数	59橋
上水道	管路延長	76,051m
	施設数	浄水場：7施設 配水池：6施設
下水道	管路延長	30,718m
	施設数	処理施設：2施設
公園	箇所数	6箇所

◎課題

- 老朽化の進行
 - 維持更新費の増大
- ▶今後40年間の更新費は年平均5.3億円（総額211億円）と試算
- ↓
- 過去5年平均の1.7倍

基本方針

施設保有量の適正化

長寿命化の推進

既存施設の有効活用

全庁的な取り組み

公共施設（建築施設）

◆必要なサービス水準を勘案しつつ、保有施設の統合、廃止など施設の縮減に取り組みます。
※縮減目標（H26.3末比）
：計画期間（14年間）に8.8%縮減

◆計画的な維持修繕（予防保全）を推進し、施設を安全に利用できるように長寿命化を図ります。
◆更新（建替え）時期の集中を避けることで費用の平準化を図ります。

◆既存施設の空きスペースの転用や用途変更、他の施設との機能の集約など施設の有効活用を図ります。

インフラ施設

◆社会情勢やニーズ、防災対応や財政状況などを勘案し、中長期的視点から必要な施設の整備を計画的に進めます。

◆定期的な点検などを踏まえ、各施設の特性を考慮した計画的な維持管理を行い、安全に利用できるように長寿命化を図ります。

◆空間の活用など運用の改善や防災・減災機能の付加など、既存施設の有効活用を図ります。

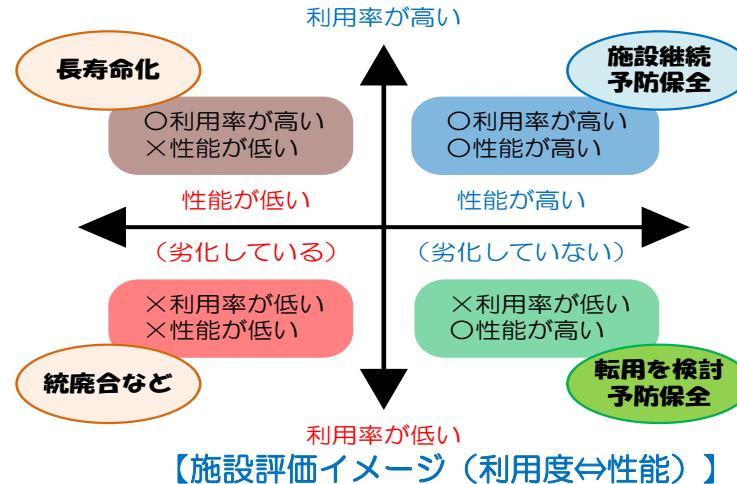
計画の実行へ向けて

公共施設（建築施設）

◆施設情報を整理した施設カルテによる情報共有と活用

◆施設評価

施設の利用面（利用者数や稼働率など）や性能面（劣化度や安全性など）の分析・評価を基本とし、さらに維持管理コストや政策的な判断も加味し、今後の施設更新等の方向性を検討していきます。



個別施設計画へ

インフラ施設

◆方向性の検討
個別の管理計画を策定し、施設の特性に合った管理水準を設定します。

◆現状の把握
定期的な点検により劣化進行等の状態を把握し評価するとともにデータの蓄積を行います。

◆更新・補修の実施
点検に基づいた短中期の更新・補修計画を策定・実施します。

◆取り組みの見直し
施設の状況、財政状況等を総合的に判断し、管理水準等を見直しを行うとともに目標を再設定し実行します。